

おれんじの屋根

施設長より

「心耳を澄ます」

～やさしさこそが大切に 悲しさこそが美しい～

熊本県障害児・者親の会連合会発行の「令和2年度 第3回 障がい児者・家族の作文集」の巻末に、向野幾世さんという方の「心耳を澄ます」という文章が掲載されています。

「心耳(しんじ)」とは、心を耳とすることで、「心耳を澄ます」とは、心耳を澄まさなければ聞こえてこない声に心の耳を傾けることだそうです。まさに、障がいのある人との関わりでは何よりも大切なものと言えるでしょう。自分からは何も言われない人、発語がない人がたくさんおられます。でも、心はある。その心的心声は、私たちが心の耳を澄まさなければ聞こえてこないものだろうと思います。

表題の「やさしさこそが大切に 悲しさこそが美しい」という言葉は、向野さんが養護学校時代に担任されたやっちゃんとお母さんの互いをいたわり感謝する思いを綴った「ごめんなさいね おかあさん」/「わたしの息子よ ありがとう」の詩の一節です。ここに詩をご紹介するスペースはありませんが、向野さんは、「心耳を澄ます」の中で、この詩を受け、「やさしさこそが大切に 悲しさこそが美しい そんな人の生き方を教えてくれた人たちでした」と述べられていました。

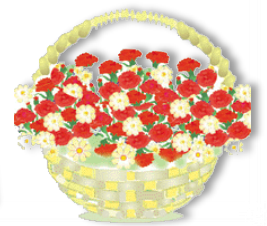
障がいのある人たちとの出会いや生活を共にすることで得られることは実に多いと思います。私たちしょうぶの里の職員もそのような場で仕事に就いている、その仕事を、「つまらない」と思えば、そこまで。しかし、心耳を澄ますことができれば、ほかの世界では味わえないすばらしい喜びや感動がある。人生の深淵(しんえん)に出会える貴重な場、仕事でもあると思います。

職員にも、ぜひ、この詩と「心耳を澄ます」という言葉、その言葉の意味するところを知ってほしい、感じてほしいと思い、新年度を迎えた4月の職員会議で紹介しました。やっちゃんとお母さんの詩を職員に交替で読んでもらいましたが、読む人も、それを聞いている人からも、鼻をすする音が聞こえてきました。

決して、情に訴えようとしたわけではないけれど、この詩、そして、向野さんの言葉に感銘を受け、涙できることは、障がいのある人たちと日々関わる福祉の世界にいる私たちが持っていた一つの資質なのではないかという気がしています。

そして、私たちも、日々利用者さんとの生活や活動の中で、向野さんと同じような喜びや感動をいただける、いただいているということに気付いてほしいという願いがありました。そのことに気付けるか、その関わりから得られる喜びや感動をありがたいと思えるかが大切だと思います。

職員には、仕事を通しての利用者さんとのふれあいや関わり、やりとりを今まで以上に大事にし、楽しんでほしいと思った新年度早々の職員会議でした。



書き遊ぶ 「喉元過ぎれば…」

ゆうゆう会会長の瀬上です。いつも皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。



2021年2月に岩手で震度6、3月は宮城で震度5の地震が発生しました。これは10年前の東日本大震災の余震だそうで、熊本もあと5年は油断できません。

人吉・球磨の洪水以降、具体的対策はまだまだ計画段階です。当分まだ来ないだろうという気持ちがかどこかにありはしないでしょうか。

東日本大震災では多くの子どもの命が奪われましたが、

本来それはあり得ないのです。学校では地震や火災を想定した避難訓練を毎年実施しているからです。考える時間はたっぷりありました。絶対来ると思って作った計画でなければ人命は救えません。

熊本はこの10年、次々と大災害に見舞われました。ピンチをチャンスに変えましょう。経験をもとに、耐震・耐火・耐大水・耐ウイルスなど準備することに事欠きません。

《ゆうゆう会の皆様へお知らせ》

去る令和3年4月1日に監査を行いました。

令和2年度のゆうゆう会の活動報告関係の書類をお送り(同封)します。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、多くの行事が中止になったり、土日の外出や外泊が制限されたりと入所利用者さんにとって、我慢の年だったと思います。

新年度も感染症対策を行い、健康にも気をつけながら、皆さんがワクワクするような活動（新緑めぐり、夏まつり、テイクアウトおやつなど）を取り入れ、充実した生活が送れるよう努めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

主任支援員 松本

通所の担当も2年目になりました。昨年の経験や学びをこれからも活かして、これまでに通所でできなかった活動にもチャレンジしていきたいと思ひます。

通所担当支援員 霍本

長年、しょうぶの里にありますが、初めて通所の担当になりました。

楽しく充実した日々になるように頑張ります。よろしくお願ひします。

通所担当支援員 村上

給食室より

☆4月のイベントメニュー☆

- 4月4日 誕生会(おやつ)
ケーキ コーヒー他
- 4月16日 リクエストメニュー(昼)
手作りハンバーグ
ハッシュドポテトとナゲット
コールスローサラダ コーンスープ
- 4月23日 春のピクニック弁当(外注)
- 4月28日 リクエストメニュー(昼)
セレクトパン コーンクリームシチュー
豆腐とごぼうのサラダ いちご

《リクエストメニュー》

4月28日のリクエストメニューは“まちくらネットワーク熊本NICEパン”さんとのコラボレーションです。

NICEパンさんのおすすめパン8種類の中から、利用者さん一人ひとりに食べたいパンを2種類選んでいただきました。

管理栄養士 厚地

医務室より

新型コロナウイルス感染症のワクチンについて

なかなか落ち着くことのない新型コロナウイルス。今回はワクチンについて調べてみました。

- 接種を行う期間は…
令和3年2月17日～令和4年2月末日
- 費用は…無料。住民票のある市町村から届く接種券(クーポン券)を持参する。
- 接種回数は…2回接種(74件”社)
- 接種間隔は…1回目から3週間後(3週間後の同じ曜日)に2回目を接種する。
- 副反応について…発熱、頭痛、疲労感、筋肉痛、寒気、関節痛
大半は接種後、数日内で治まる。
- 接種できない方は…
 - ・明らかな発熱(37.5℃以上)
 - ・重い急性疾患にかかっている
 - ・ワクチンの成分に対し、アレルギーなど重度の過敏症の既往歴がある
- 問い合わせ先…《ワクチン対策チーム》
熊本市中央区水前寺6丁目18-1
電話(096)333-2015

《5月の行事予定》

- ☆ 6日(木) 訪問歯科
- ☆ 7日(金) 誕生会
- ☆ 10日(月) 職員会議 給食委員会
- ☆ 11日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 12日(水) 新緑巡り
- ☆ 13日(木) 訪問歯科
- ☆ 17日(月) PCR検査(職員)
- ☆ 18日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 20日(木) 訪問歯科
- ☆ 24日(月) 職員研修会
- ☆ 25日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 26日(水) 手作りおやつ
- ☆ 27日(木) 訪問歯科
- ☆ 28日(金) NICEパンとのコラボリクエストメニュー

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

「施設長より」でも紹介されてます《ごめんなさいね おかあさん》の詩を読んだとき、中島みゆきの“誕生”という歌の歌詞が思い浮かびました。
“Remember 生まれた時 誰でも言われたはず 耳をすまして思い出して 最初に聞いたWelcome(中略)おたしいつでもあなたに言う 生まれてくれてWelcome”
生まれてきたことをごめんないと言わなきゃならないなんて、あまりにも悲しすぎます。
どんな境遇でもどんなハンディーを抱えていてもこの世に生まれてきた事それだけで《Welcome》
そう思います。

～第48号～

令和3年4月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

